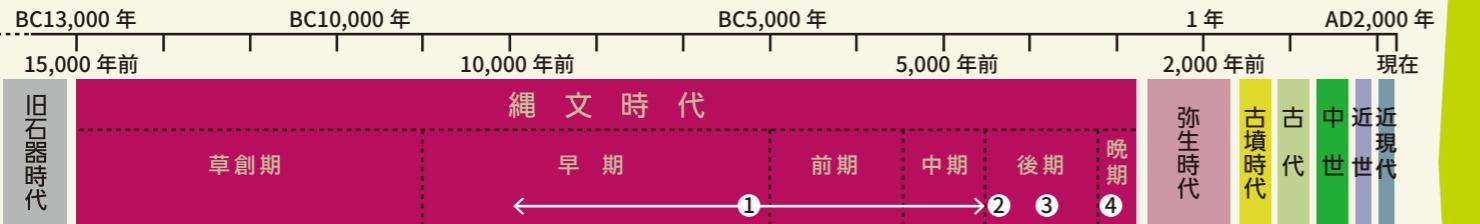


＼ただいま！／ ながたけ  
長竹遺跡の縄文

2025.1.25(土)  
26(日)  
パストラル  
かぞ  
展示室

## 年表



- ① 土器片が出土し縄文人の足跡を確認できる
- ② 長竹ムラのはじまり
- ③ 盛土の形成はじまる
- ④ 中央墓群（集団墓）が造られる

## 「ただいま！長竹遺跡の縄文展」展示遺物一覧

I 縄文人の器					
Nº	器種	細分	出土地点	報告書集数	遺物番号
1	縄文土器・深鉢	堀之内1式	SK629	III(441集)	第399図216
2	縄文土器・深鉢	後期安行	SJ43	II(440集)	第200図80
3	縄文土器・深鉢	安行3a-b式	南盛土(I-6)	IV(461集)	第340図54
4	縄文土器・深鉢	安行3c式	南盛土(H-6)	IV(461集)	第181図132
5	縄文土器・台付鉢	安行3b式	南盛土(K-8)	IV(461集)	第810図28
6	縄文土器・鉢	晩期末葉	遺物集中6	III(441集)	第510図29
7	縄文土器・浅鉢	晩期安行	南盛土(I-6)	IV(461集)	第349図139
8	縄文土器・人面付口土器	大洞BC式	SK201	III(441集)	第369図16
9	縄文土器・注口土器	大洞BC式	SK310	II(440集)	第306図23
10	縄文土器・注口土器	晩期	南盛土(H-5)	IV(461集)	第142図40
11	縄文土器・小型壺	晩期	南盛土(H-5)	IV(461集)	第142図41
12	縄文土器・小型壺	晩期	南盛土(H-5)	IV(461集)	第142図42
13	縄文土器・角底土器	晩期安行式	南盛土(K-8)	IV(461集)	第767図23
14	縄文土器・壺(徳利型)	晩期	南盛土(H-7)	IV(461集)	第281図72
15	縄文土器・深鉢	前浦式	南盛土(G-6)	IV(461集)	第108図679
16	縄文土器・深鉢	前浦式	南盛土(G-6)	IV(461集)	第108図678
17	縄文土器・鉢か	佐野式	南盛土(H-5)	IV(461集)	第141図27
18	縄文土器・鉢類	大洞BC式	南盛土(H-6)	IV(461集)	第231図1340
19	縄文土器・鉢類	大洞BC式	南盛土(H-5)	IV(461集)	第154図394
20	縄文土器・深鉢	大洞BC式	南盛土(H-6)	IV(461集)	第231図1339
21	縄文土器・深鉢	天神原式	北盛土(D-3)	VI(483集)	第492図1076
22	縄文土器・深鉢	天神原式	北盛土(D-3)	VI(483集)	第492図1075
23	縄文土器・深鉢	姥山式	南盛土(G-6)	IV(461集)	第92図245
24	縄文土器・鉢類	大洞C1-C2式	南盛土(H-6)	IV(461集)	第231図1352
25	縄文土器・鉢類	大洞C1-C2式	南盛土(G-5)	IV(461集)	第64図353
26	縄文土器・鉢か皿	大洞A-A'式	南盛土(F-4)	IV(461集)	第16図77
27	縄文土器・鉢類	大洞C1-C2式	南盛土(H-6)	IV(461集)	第231図1351
28	縄文土器・鉢類	大洞C1-C2式	南盛土(G-5)	IV(461集)	第64図352
29	縄文土器・底部	-	SJ43	II(440集)	第208図154
30	縄文土器・底部	-	SJ43	II(440集)	第208図155
31	縄文土器・底部	木葉底	北盛土(E-4)	VI(483集)	第554図57
32	縄文土器・底部	コザ目編	北盛土(D-2)	VI(483集)	第447図23
33	縄文土器・底部	-	SJ43	II(440集)	第209図168
34	縄文土器・底部	網代	SK704	III(441集)	第489図12
35	縄文土器・底部	-	SJ44	II(440集)	第219図265
II 縄文人の道具					
36	砥石	-	北盛土(ZZ-999)	VI(483集)	第169図466
37	貝輪砥石	-	北盛土(ZY-998)	VI(483集)	第87図1199
38	貝輪砥石	-	北盛土(ZZ-999)	VI(483集)	第169図465
39	石錐	つまみ有	南盛土(F-5)	IV(461集)	第38図470
40	石錐	つまみ無	北盛土(ZZ-0)	VI(483集)	第217図1177
41	石錐	つまみ有	北盛土(B-1)	VI(483集)	第331図342
42	石匙	つまみ有	南盛土(H-7)	IV(461集)	第313図917
43	石箆	短冊形	北盛土(ZZ-0)	VI(483集)	第217図1178
44	石箆	撥型	北盛土(ZY-998)	VI(483集)	第83図1141
45	骨角製の刺突具	-	SJ43	II(440集)	第405図1
46	鹿角製の刺突具	-	SJ43	II(440集)	第405図9
47	鹿角製の刺突具	-	SJ43	II(440集)	第405図4
48	鹿角製の刺突具	-	SJ40	II(440集)	第405図6
49	石鎌	無茎	北盛土(ZZ-999)	VI(483集)	第167図448
50	石鎌	無茎	北盛土(C-2)	VI(483集)	第414図1474
51	石鎌	無茎	北盛土(ZZ-998)	VI(483集)	第148図502
52	石鎌	無茎	北盛土(D-3)	VI(483集)	第508図1549
III 縄文人の装い					
53	被熱してくついた垂飾	-	北盛土(ZZ-0)	VI(483集)	第221図1228
54	垂飾・勾玉	-	北盛土(D-3)	VI(483集)	第515図1650
55	垂飾(線刻)	-	北盛土(A-999)	VI(483集)	第246図601
56	垂飾	-	北盛土(D-3)	VI(483集)	第515図1652
57	垂飾	-	北盛土(C-2)	VI(483集)	第419図1559
58	垂飾	-	北盛土(D-4)	VI(483集)	第540図548
59	ヒスイ製の小玉	-	北盛土(B-1)	VI(483集)	第332図357
60	ヒスイ製の勾玉	-	北盛土(C-2)	VI(483集)	第419図1558
61	ヒスイ製の小玉	-	北盛土(A-1)	VI(483集)	第303図663
62	ヒスイ製の小玉	-	北盛土(ZZ-0)	VI(483集)	第221図1227
63	土製耳飾り	-	SJ43	II(440集)	第347図129
64	土製耳飾り	-	SJ43	II(440集)	第347図126
65	土製耳飾り	-	SJ43	II(440集)	第344図81
66	土製耳飾り	-	南盛土(I-6)	IV(461集)	第459図2966
67	土製耳飾り	-	南盛土(K-8)	IV(461集)	第786図621
68	土製耳飾り	-	南盛土(K-7)	IV(461集)	第755図1894
IV 縄文人の祈りの道具					
69	石棒	両頭	SJ106	III(441集)	第614図376
70	石棒	-	北盛土(ZZ-0)	VI(483集)	第221図1225
71	石棒	線刻	北盛土(E-3)	VI(483集)	第547図148
72	小型の石棒	-	北盛土(C-2)	VI(483集)	第419図1555
73	独鉛石	-	SJ106	III(441集)	第617図398
74	独鉛石	小型・線刻	北盛土(ZY-998)	VI(483集)	第149図523
75	石冠	-	SK666	III(441集)	第617図402
76	土版	-	北盛土(ZZ-998)	VI(483集)	第149図522
77	土版	人面付	南盛土(I-7)	IV(461集)	第539図1554
78	土偶	山形土偶	南盛土(I-6)	IV(461集)	第460図2975
79	土偶	人面付	南盛土(F-5)	IV(461集)	第37図466

## 長竹遺跡 刊行報告書のご紹介

## 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書

- ・第 413 集 『長竹遺跡 I』(2014) ・第 461 集 『長竹遺跡 IV』(2020)
- ・第 440 集 『長竹遺跡 II』(2018) ・第 482 集 『長竹遺跡 V』(2020)
- ・第 441 集 『長竹遺跡 III』(2018) ・第 483 集 『長竹遺跡 VI』(2024)

令和7年1月25日発行

編集・発行 公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4丁目4番地1

TEL 0493-39-3955 URL https://www.saimabun.or.jp

## 里帰り展 2024

＼ただいま！／ ながたけ  
長竹遺跡の縄文

里帰り展 2024「ただいま！長竹遺跡の縄文展」によりこそお越しくださいました。今回のテーマとした加須市長竹遺跡では、縄文時代の後・晚期（約 4,000 年～ 2,900 年前）の盛土を伴う巨大な集落が見つかり、多くの注目を集めました。令和6年3月にすべての発掘調査報告書が刊行されたこの機会に、長い眠りから覚めた先人達の贈り物が、みなさまのもとに帰ってきました。みなさまには「おかえり！」という想いで迎えていただけると幸いです。

かんじょうもりつち いこう  
長竹遺跡と謎の「環状盛土遺構」

加須市大越に所在する長竹遺跡は、利根川右岸の加須低地に位置します。発掘調査では、細長い調査区から南北二か所の盛土が確認されました。これらは、縄文時代後・晚期の「環状盛土遺構」であることがわかりました。

「環状盛土遺構」は 1990 年代、小山市寺野東遺跡の調査で初めて明らかになりました。その後、埼玉県内でも東部地域を中心に発見されています。盛土は、廃絶した竪穴住居を一度埋めて整地され、そこへ新たな竪穴住居を建てる

A 15.00m  
A' A' 15.00m  
※古い竪穴住居（■）は低く、新しい住居（■）ほど高い位置にあります  
北盛土の土層と住居跡の関係

## 縄文晚期の集団墓

集落の後半期（約 3,000 年前頃）には、集落の中央と北盛土から多くの長方形の穴が見つかり、これらは墓跡と考えられています（「土壙」や「墓坑」と呼びます）。中央の墓群は居住域から独立しています。墓坑の向きを揃える、直交させる、また隣の墓坑と近接させる、一部を重ねるといった配置上の特徴がありました。中央墓群の第 277 号土壙では、手足を伸ばした状態で埋葬された壮年女性の人骨が見つかりました。頭部付近から副葬品と見られる土器が



## I 縄文人の器



## いろいろなかたちの土器

